

旭丘小だより

学校だより臨時号
令和8年2月20日発行
発行責任者：高石 直貴
電話 03-3957-2151



教育活動に関する保護者アンケート結果

校長 高石 直貴

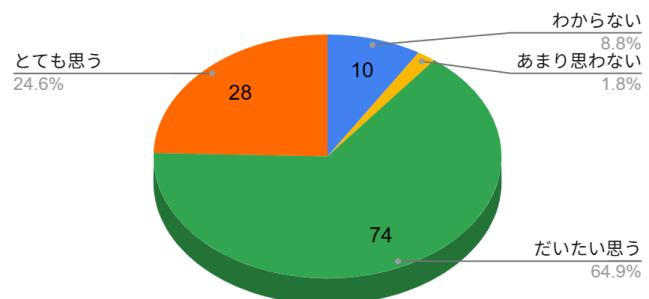
保護者の皆様を対象として実施いたしました、令和7年度の「教育活動に関するアンケート」の回答集計が終了しましたので、結果を公表いたします。皆様から頂きました回答、ご意見を踏まえまして、今後一層の教育活動の充実に努めてまいります。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

■ わからない ■ まったく思わない ■ あまりそう思わない ■ だいたいそう思う ■ とても思う

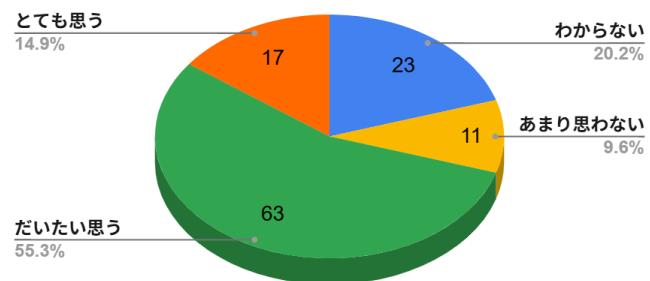
1 学校は、児童が理解を深められるような学習指導を行うよう努めている。

肯定的な評価は昨年度と同水準を維持していますが、「わからない」との回答が約4ポイント増加しました。授業のねらいや学びの様子がご家庭に十分伝わりきっていない可能性があると受け止めています。授業公開や学校だより等を通して学習の過程をより具体的に発信するとともに、児童一人一人の理解に応じた指導の充実に努めます。



2 学校は、個別の課題やICTの機能等を活用し、個々の児童に応じた学習指導を行うよう努めている。

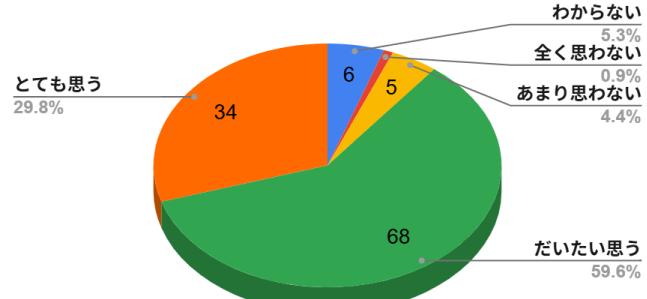
昨年度と比べ、「わからない」のポイントが9.3ポイント上がっています。ICT機器等も活用しながら、一人一人の学習進度を把握し、個々の理解や進度に応じた指導を継続していくとともに、具体的な活用方法などについて、保護者の皆様に更に浸透できるように努めます。



3 学校は、道徳の授業や各教育活動を通じて、児童の豊かな心や道徳性の涵養に努めている。

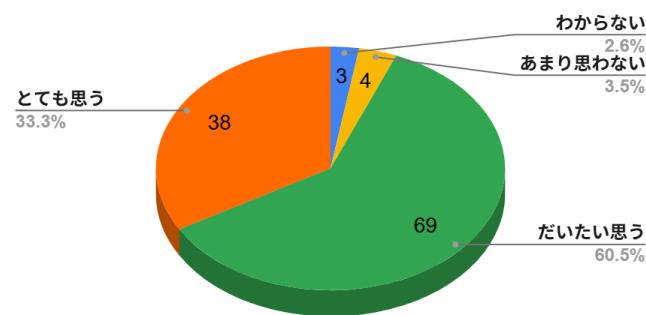
肯定的な意見が89.4%と、多くの保護者の方にご賛同いただきました。

道徳の授業やあいさつ運動、学校行事等を通した取組が、児童の心の育成につながっているものと受け止めています。今後も、児童同士、教職員と児童の豊かな関わりを一層深め、思いやりやよりよく生きようとする態度を育む教育活動を継続します。



4 学校は、体育の授業や体力向上の取組（運動会、長縄・短縄月間等）を通して、児童が運動を親しむよう努めている。

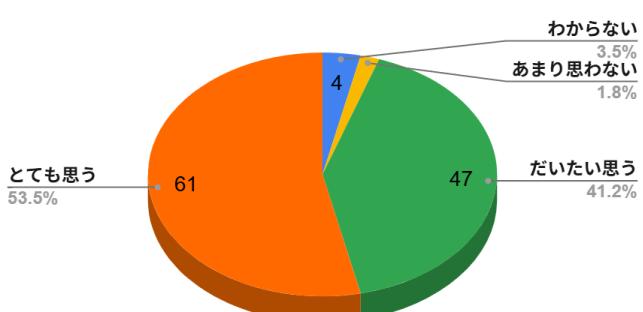
肯定的な評価は93.8%で、昨年度より2ポイント増加しました。改築工事による施設利用の制限の影響がある中でも、学校の取組に対して一定の評価をいただいたものと考えています。次年度は校庭の改修が順次済むことを見据えながら、学年の学習内容に応じた施設の利用を臨機応変に行うなどの工夫も取り入れ、体を動かす楽しさを更に感じられるようにします。



5 学校は、学校行事や文化・芸術に関するイベント、様々なゲストティーチャーを招いて行う授業等を実施することを通じて、豊かな「体験の場」を創るよう努めている。

肯定的な意見が94.7%と、昨年度と同水準の評価をいただきました。

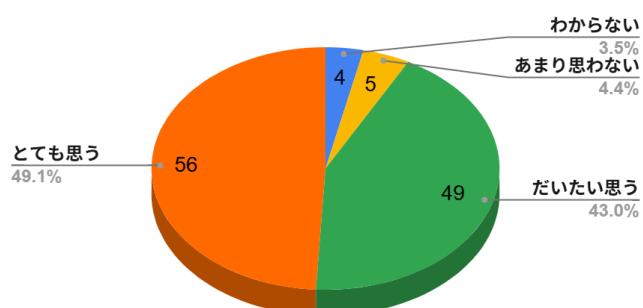
ゲストティーチャーによる授業や行事を通した体験活動が、児童の学びへの意欲を高めているものと受け止めています。今後も、地域や外部と連携した体験の場の充実に努めます。



6 学校は全校行事や校外学習、縦割り班活動等を通して、児童の豊かな「関わりの場」を創るよう努めている。

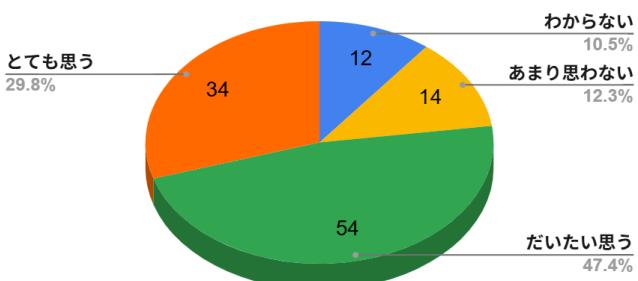
肯定的な意見が92.1%と、多くの保護者の方にご賛同いただきました。

縦割り班活動や校外学習等を通した異学年交流や、通常学級と特別支援学級の交流の取組が成果として表れているものと受け止めています。互いを認め合える場づくりを引き続き進めていく中、小中合同行事における豊かな関わりの場の創設について努めます。



7 学校は、タブレットパソコンを積極的に活用している。

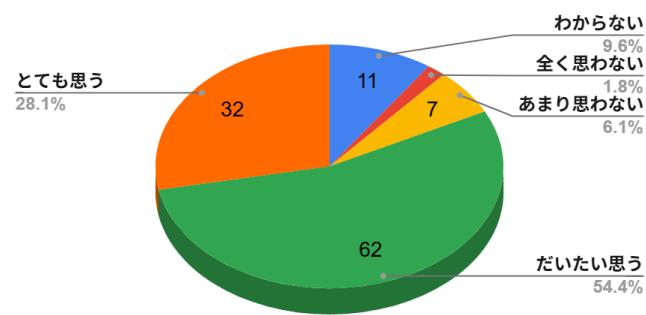
肯定的な評価は77.2%となり、昨年度から7.3ポイント低下しました。昨年度から積極的な活用を推進してきている中ではありますが、活用場面が少ないと感じられるご意見もありました。考えをまとめたり発表したりする場面など、学習のねらいに応じた効果的な活用を進めるとともに、家庭での自学自習における活用方法など、更に検討していきます。



8 学校は、児童の人権に配慮し、受容・傾聴・共感による指導を行うよう努めている。

肯定的な意見の割合とともに、「わからない」と回答した割合も昨年度と同水準であるという結果となりました。

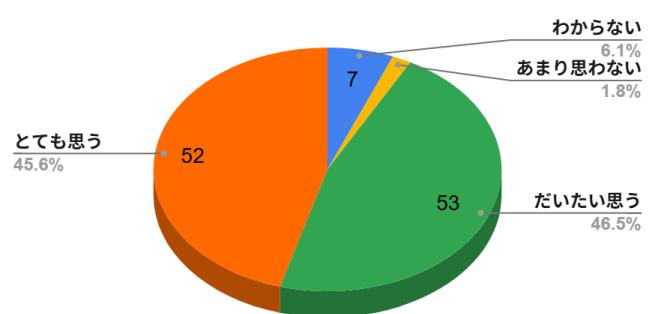
本校で大切にしている、全教職員がカウンセリングマインド（受容・傾聴・共感）をもって児童に接することを引き続き行い、児童一人一人の心情や課題に寄り添いながら指導・支援を行ってまいります。



9 学校は、保護者の皆様の連絡や相談に対し、迅速に、真摯に対応するよう努めている。

肯定的な意見が92.1%と、昨年度と同水準のポイントとなりました。

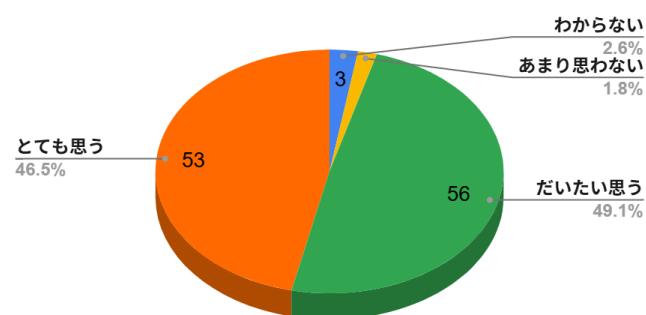
今後も、学校は全ての保護者の思いに可能な限り寄り添い、連絡や相談に迅速かつ丁寧に対応するよう心掛けてまいります。ご相談等がございましたら、学級担任や相談員、管理職にご遠慮なくお話ください。



10 学校は、各種行事や学校公開、学校だより等の配布物およびホームページを通じて、教育活動の広報に努めている。

肯定的な意見が95.6%と、昨年度同様の高いご支持をいただきました。

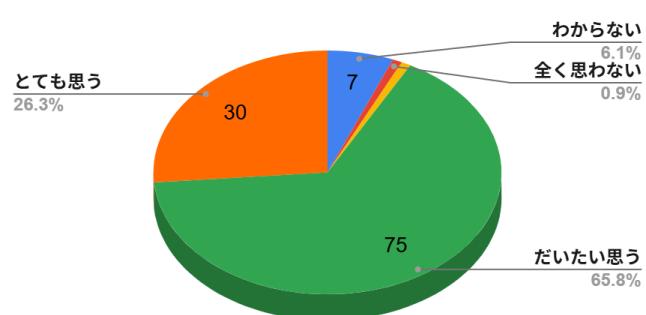
今年度は、学校ホームページを毎日更新し、日常の情報発信を積極的に行ったことが、一定のご支持を得られたことにつながったのではと考えます。引き続き日常的な情報発信とともに、学年ごとの行事における授業公開やSigfyによる情報発信に努めます。



11 学校は、建て替え工事によって施設状況が変わる中、教育活動がスムーズに行われるよう工夫している。

肯定的な意見は92.1%となりました。建て替え工事が進む中でも、取り組んだ教育活動の内容について多くのご理解をいただいたものと受け止めております。

新校舎への引っ越しは終わりましたが、校庭改修などの工事は継続しております。今後も教育活動への影響が最小限となるよう関係業者との調整を続けるとともに、児童の安全を最優先に環境づくりに努めます。



回答結果の平均と考察

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
全学年	2.9	2.4	3.0	3.2	3.4	3.3	2.8	2.8	3.2	3.3	3.0

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。3ポイントを下回った項目が4項目ありました。以下に代表的な意見と今後の方針についてお示しします。

3ポイント未満の問い合わせ	「あまりそう思わない」「全く思わない」に対する意見等と今後の対応
1 学校は、児童が理解を深められるような学習指導を行うよう努めている。	・意見としては挙げられていませんでしたが、昨年度と比較し、「分からない」のポイントが約4ポイント増えている結果となっていました。 ⇒「分からない」という回答が増えたことから、学校での学習の様子や授業のねらいが、十分にご家庭へ伝わりきっていない可能性があると受け止めています。学校だよりや授業公開等を通して、どのような学びを大切にしているのか、児童がどのように考え、話し合い、深めているのかを、より具体的にお伝えできるように努めています。また、日々の授業においても、児童一人一人の理解の状況を丁寧に把握し、つまづきに寄り添った指導や、分かった喜びを実感できる学習活動の充実に努めてまいります。
2 学校は、個別の課題やICTの機能等を活用し、個々の児童に応じた学習指導を行うよう努めている。	・夏休みのタブレットの宿題について（操作性について）、低学年のタブレット学習についての是非について（紙で書く学習の大切さ、タブレット自体の重量について）ご意見をいただきました。 ⇒タブレット学習の操作性や、低学年における紙で書く学習の大切さ、端末の重さなどについてのご意見を真摯に受け止めています。学校では、ICTは「全てを置き換えるもの」ではなく、「学びを深めるための一つの手段」と捉えています。今後も、書くこと、考えること、話し合うことといったアナログのよさを大切にしながら、調べ学習やドリル学習、個別の理解度に応じた課題提示など、ICTのよさが生きる場面を選んで活用していきます。ご家庭とも連携しながら、児童一人一人にとって無理のない、効果的な学習の形を追求してまいります。
7 学校は、タブレットパソコンを積極的に活用している。	・タブレットパソコンを活用した授業における使用状況について、また、活用場面が少ないと感じているご意見をいただきました。併せて、アナログのよさも大切にしつつ、学習の中で有効活用していただきたいという声もありました。 ⇒授業での活用場面が少ないと感じられるというご意見や、アナログのよさも大切にしてほしいという声を踏まえ、タブレットの「量」だけでなく「質」を意識した活用を進めていきます。学校では、考えを共有する場面、調べたことをまとめて発表する場面、個別の練習に取り組む場面など、学習のねらいに応じてタブレットを活用しています。今後も、児童の思考や表現がより深まるような活用方法を教員間で共有し、紙とデジタルのそれぞれのよさを生かした授業づくりに努めてまいります。
8 学校は、児童の人権に配慮し、受容・傾聴・共感による指導を行うよう努めている。	・教員によってルールが違うということを児童が感じているので一貫した指導をしてほしいということ、また、子供の話をよく聞いてくれることへの感謝とともに、学校を安全な場所として更に子供が感じられるよう努めほしいというご意見をいただきました。 ⇒教員による指導の受け止め方に違いがあると児童が感じているというご意見を、学校として重く受け止めていきます。生活指導や児童対応について、教職員間で共通理解を一層深め、より一貫性のある指導が行えるよう校内での話し合いや研修を充実させていきます。また、児童一人一人の声に丁寧に耳を傾け、全ての児童が安心して気持ちを表現でき、認められていると実感できる「安全な学校づくり」を大切にしています。